

和光の緑と湧き水だより会報 Verda213 号



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成:高橋絹世 連絡先 048—462—9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

自然に親しみ、湧き水を守るボランティア活動をしましょう 会 員 募 集 中

2021年6月～8月の主な予定表 (2021年5月30日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森（地域の会に協力して）
8 月	中学生の夏休みボランティア受け入れ	21日定期保全夏休みボランティア	19日（第3木）富澤保全ボランティア 18日（第3水）大坂ふれあいの森保全
9 月		18日（第3土）定期保全	11日（第2土）富澤湧水フィールドワーク 15日（第3水）大坂ふれあいの森
10 月	湧き水の会・大坂の会 共同バス研修会を計画中	16日（第3土）定期保全	9日（第2土）富澤湧水フィールドワーク 20日（第2水）大坂ふれあいの森

令和3年度初任者教員研修会が開催され白子地域湧き水群を案内し、市役所で高橋勝緒氏の講義「和光市の自然環境について」

7月30日白子地域湧き水群のコース
コミセン前集合 8時30分

1. 熊野神社・湧き水タンクや富士講
 2. 白子橋で湧き水流入口2か所見学
 3. 東京都と埼玉県の境
 4. 富澤湧水斜面林地層見学、石垣湧水道、洗い場の歴史、サワガニ探し、上部斜面林見学
 5. 大坂ふれあいの森の谷頭の地層、カタクリやイチリンソウ自生地見学、湧き水池（トンボ池）観察、ふれあいの森植生の見学
 6. 陸橋こえてくらやみ坂、馬頭観音
 7. ニホニウム通り
 8. 市役所着 10時40分
- 和光市の自然環境 11時～11時40分
高橋勝緒氏により講義

コロナの影響で去年は実施されなかった研修会でしたが、今年学校教育課の圖子田先生が担当され、和光市小中学校の新任の11名の先生を左記のコースで当会



新任研修会で大坂ふれあいの森にて

がご案内しました。地層や石垣湧水道、上部斜面林などを実際に観察。また大坂ふれあいの森の地形や植生など和光の湧水・斜面林の特徴を知ってもらう良い機会が得られました。学校でも活用していただきたいです。



講義「和光の自然環境について」

今年は、赤松さんの紹介で、和光市長柴崎様が白子の湧水と緑地の見学にご参加下さいました。都市部に残された湧水と斜面林、特に「大坂ふれあいの森」について、谷頭の地形に東京軽石層と思われる地層が残る斜面、カタクリ、イチリンソウの自生地等を紹介しました。



富澤湧水の前で湧き水の仕組みを説明



大坂ふれあいの森の谷頭で地層観察

お忙しい中ご参加下さり有難いことです。

新倉ふれあいの森保全活動および七夕用竹の切り出し

6月は雨の日が多く、第4土曜日26日に保全活動を実施しました。森入り口付近の樹木の剪定、隣接する住宅に障害となっている草木の除去作業など、7名の精鋭で伐採剪定作業を実施。蒸し暑い中で、重要な箇所が片付けました。住宅の裏側の雑草も機械を使えない状況の中で手刈りで蔦や雑草を整理しました。



入口の樹木の伐採

今年は七夕飾り用の竹の要望が多く、社会福祉協議会と連携し日



エゴノキの花・森のシャンデリア

程を合わせて会員も数名切り出しの手伝いをしました。日ごろ手入れした竹林から選び出し、丁度枝が広がった緑の竹を提供しました。市内の小学校や児童館に配布、恒例となった季節の行事が実施できました。



北原学童クラブの七夕飾り



2021年6月17日 樹林公園フィールドワークを実施

ヒロハアマナの森の草刈りと樹木の手入れを行いました。桜の実生が見つかり保護しました。樹木周りの草は手刈り、その後、防護網で安全確保し全体を仮払い機で草刈りしました。

終了後、ドングリの森を巡回観察し、クヌギ、コナラの2世である幼樹がマーキングされている様子を確認。樹林公園パートナーズは、来年2月ごろに第2ドングリの森への移植を実施する計画です。「ドングリの森の2世の森づくり」を計画、園内に森を広げる計画です。

2000年からスタートした森づくり計画の再計画、樹林公園パートナーズが当会の森づくりを引き継いで新たな森が出来るといいですね。



6月、7月 富澤湧水フィールドワークの様子

長年活動が続けている富澤湧水は、たびたび大きな変革が起こりました。2015年に現在の



状態がようやく「白子宿特別緑地保全地区」の指定を受けるに至りました。白子で活動している会員に、その変革を知ってもらおうと、資料を作成して、フィールドワークの時に配布説明しています。湧水の流れと緑の森となっている現在の富澤湧水の歴史を知り、守り、伝えていくメンバーが増えるよう願っています。

湧水周辺の手入れの時、機械で草刈りをする水辺の環境が保てなくなり、サワガニなど生き物が棲めなくなります。カタクリ保護区も斜面が急なため、草刈り機は使えません。急斜面の竹の切り出しなども同様。水辺に生育するドクダミ、シャガなどの刈り取り作業は人手で行います。

会の活動紹介チラシ用のポストを富澤湧水の中ほどに設置しました。湧水地を尋ねてくる親子連れが多く、チラシが役立っているようです。

白子川には、白子宿にある多くの湧水が流れ込んでいますが、土管から川へ流入しているため、排水が流れ込んでるように見えます。白子にある数か所からのきれいな湧水が、土管から川へ流入していることを、多くの人に知ってもらうために、「白子宿湧水流入口」という看板を作成しています。これを流入口付近に設置したいと思い、計画中です。



白子宿には約5ヶ所に水源があります。1. 地福寺方面、2. 滝坂方面、3. 熊野神社方面、4. 富澤湧水、5. 大坂方面などです。それぞれの地域で使われ方は違いますが、水路を通って白子川に流れ込みます。流入口は土管になっていますが、流れ込む水は湧水。看板を取り付けて明示し、白子宿一帯が湧水群であることをもっと知ってもらえると思います。

森と湧き水に棲む生き物たち・植物たち



オニヤンマ



オオゲジ



カブトムシの幼虫



サワガニ



タマムシ



ニジュウヤホシテントウ



コシアキトンボ



オオシオカラトンボ



ニイニゼミ抜け殻



タマノカンアオイ



キンラン



ヤマブキソウ



キツネノカミソリ



イチリンソウ



キヌガサダケ